

カメルーン★どうでしょう

2023年5月
カメルーン通信 No. 7
JICA 海外協力隊
出町 卓也

La monnaie du Cameroun est « Franc CFA ».



Bonjour! カメルーンからでまちです。雨季が本格化したカメルーンでは、毎日どこかのタイミングで雨が降っています。雷鳴が聞こえた後に一気に降ることもあれば、霧雨のようにしばらく降り続けることもあります。カメルーン人は雨が強い時は家でいったん雨宿りをして、雨が弱くなったら出勤します。なので、朝に降っていると出発のタイミングが難しく、小さな悩みの種です。

天気の変わり目はとても分かりやすく、空を見ると青空と雨雲の境目がくっきりと見えます。もうすぐ雨が来るサインだな、と思いつつ、このはっきりした空模様がとてもきれいで、お気に入りでもあります。ただし、雨が降った後の道はとてもぬかるんでいます。岩や草の上など、滑らないところを慎重に見極めつつ、足がとられないように慎重に歩いています。



また、雲が道を示すように広がる空や、朝焼けがきれいに見える空も私のお気に入りです。乾季も雨季も変わらず暑いカメルーンですが、様々な変化を見せる空の姿はとても魅力的です。

◇カメルーンの通貨から見える文化。

今回はカメルーンで使われている通貨を紹介します。カメルーンの通貨単位は CFA フラン（セーフーフラン）といいます。日本円にすると、おおよそ 1 円=5CFA フランです。私が活動先の学校でよく食べる『煮豆をかけたトマトの炊き込みご飯』が 200CFA なので、日本円にすると約 40 円になります。玉ねぎのシャキシャキが癖になるこの一品、正直破格の価格だと思っています。



新紙幣（オモテ）



旧紙幣

紙幣は全部で 5 種類（10,000, 5,000, 2,000, 1,000, 500）あります。写真の紙幣が最も高い 10,000CFA です。色もついているので識別はしやすいです。他のデザインは中部アフリカ諸国中央銀行の HP で見ることができます。

URL→[Billet BEAC gamme 2020 - BEAC](#)

最近新紙幣に変わり、この紙幣がエゼカでも流通するようになりました。新紙幣には子どもたちの学習風景が描かれています。よくみると、タブレットを持っていますね。今後の目指す学習形態として、日本と同じようにタブレットを

使用した学習も導入されていくのかもしれませんが。

この紙幣は中央アフリカに位置する 6 か国の共通通貨として使用されています。新紙幣にはフランス語、英語、そしてアラビア語が書かれています。この紙幣を使う人々の言語が使われていることが分かります。特にカメルーンは公用語がフランス語と英語の 2 つなので、より分かりやすいですね。日本の紙幣にはいくつ言語が書かれているでしょうか。



また、硬貨は写真の 3 種類（100, 50, 25）がメインで使われています。時々 500CFA の硬貨も見かけます。日本の 1 円や 5 円のように、25CFA より小さい数の硬貨はあるにはありますが、ほぼ使われません。つまり、商品の価格が一の位、十の位がゼロになることが多く、買い物時にとても計算がしやすいのです。

この硬貨の特徴は、デザインが違うものが同時に流通していることです。写真のように 100CFA は 2 種類あり、どちらも問題なく使うことができます。紙幣のようにデザインが変わっていないので、今使っている硬貨がいつ作られたのかを考えると、この硬貨の歴史を感じますね。

私たちが日頃から使うお金には、その国の特徴や文化が示されています。新しく変わる日本の新紙幣にも着目してみてはいかがでしょうか。それでは、A bientôt！